

動に臨めるように、「学校における働き方改革アクション・プラン（第2期）」に基づく取り組みを継続します。特に、クラウドサービスやデジタル教材、校務支援システムなど、ICTを積極的に活用した教育活動やGIGAスクール運営支援センターによる業務サポートなどの支援を充実させ、教員が授業に専念できる環境を整えます。

また、教職員に対するストレスチェックを継続するとともに、部活動については、教員の兼業兼職を含めた地域移行に向けての体制づくりの検討に入ります。

潤いのある生涯学習の推進

三点目は、「潤いのある生涯学習の推進」についてです。人口減少や少子高齢化が課題となる中、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を進める社会教

育の役割は重要度が増えています。また、社会の変化が急速に進む中、変化に対応できる知識や力を身に付け、地域の課題解決につなげるのが一層重要となっており、社会教育事業を通して、学習ニーズや地域課題を踏まえた学びの機会を提供するとともに、学びの成果が地域活動に活かされるよう活動の支援や情報提供を行って参ります。

小・中学生を対象とする「しかべっ子教室」では、自然体験や生活経験、地域住民との交流などを組み込んだ活動を継続し、思いやりのある心や地域への愛着心、自律的行動を行うための基礎を育みます。

町の将来を担う青年の存在は、地域づくりにおいて欠かせないものであることから、各事業運営への参画などを通じて人材育成を図ります。また、「二十歳記念式典」

でのヘリコプター遊覧飛行を継続し、「ふるさと鹿部」の魅力を再発見してもらうなど、青年が地域に愛着をもつ機会の創出に努めます。地域で大切に守り伝えていく伝統文化は、ふるさとを愛する心や郷土を誇りに思う気持ちにつながる町民の大切な財産であることから、鹿部小唄などの保存をはじめとする、ふるさと教育の充実を努めます。

新型コロナウイルス感染症対策として休止していた「シルバーカレッジ」は、新しい形で再開し、高齢者に地域でいきいきと活躍していたりするための学びとつながりづくりを支援します。言葉を学び、創造力を豊かにする読書活動は、社会全体で推進することが重要です。スマートフォンの普及など「情報環境」が大きな変化を見せ、読書離れが懸念されていることから、

中央公民館図書室や学校図

書館の環境整備に継続的に取り組み、子どもをはじめとする町民の読書環境の充実を図ります。

文化芸術活動については、各文化団体の自主的な活動を支援するほか、日頃の練習の成果を広く町民に知ってもらうため「文化祭」を開催し、発表の機会の充実に努めます。

新型コロナウイルス感染症対策として休止していた「芸術鑑賞会」を再開し、優れた芸術にふれてもらう機会を提供することで、心の豊かさを実感できる環境づくりに努めます。

文化芸術活動を含む、社会教育の学びは、個人の成長はもとより、他者と学び合い、認め合うことで相互のつながりが形成でき、それを続けていくことは自律的で持続可能な地域社会の実現にも通じます。学習拠点となる中央公民館の環境整備を図りながら、

デジタル技術やオンラインなども活用し、学習環境の充実と情報発信に努めるとともに、社会教育委員をはじめとした学習活動を支援、推進する人材の育成を図り、地域づくりを推進します。

スポーツの推進

続いて、スポーツの推進について申し上げます。

人生100年時代と言われる中、スポーツは心身の健康の保持増進に重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものです。また、スポーツを通じて、人と人、地域と地域の交流が促進され、地域の一体感や活力が醸成されます。このことから、「する」「みる」「ささえる」「しる」といった多様な形でのスポーツへの参画を促し、町民の心と身体の健康を図ります。

各年代を対象とするス